

千六百卅六号
 現
 山崎中坊山の井
 全

^ 5
 2957



崇井中増山の井守

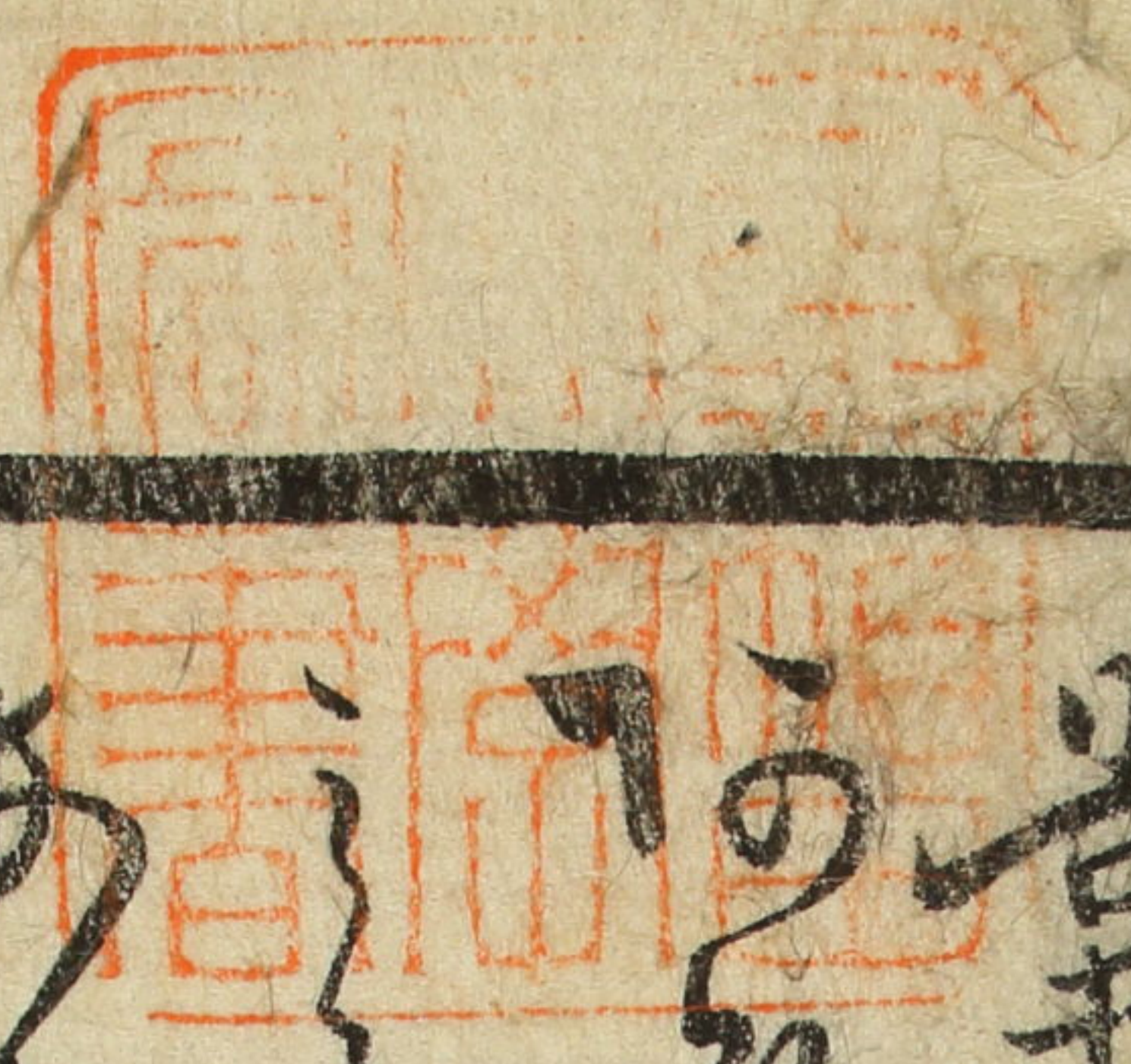
のまはしきくくくくくくくく

いももろりいももろりいももろり

あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

きくきくきくきくきくきくきく

十二月の郊外地帯の敷地



干、 具其のうごころり 女日ゆんこ 女日正月

廿、 内宴

廿、 伊勢十九日

外紀の政始 伊勢波等奈釘談 初寅糸ト番おろークラン

○弓はり先 書始 書をけりめ 遙初 ありそひ 宝川

けさうゑ賣 灯杖と命 い絲つむ 糸玉 二ツおま備

松を命 ちの 今ころー 万葉 巻打ー かりく

破戸弓 羽子のこ 子れ白 けい葉 桜けうー 柳をま

引退 妻始 ○子れ白 けい葉 桜のたを 柳のまね

田代介ーあとのぼろ ちひの子 ほろろ 女をころ子

をせ ○羽をく鬼、 ちつり葉 りと白 おやこり

木の芽 下もえ ちとら 葉のた 雪葉 りと葉

けの葉 ひこころえ 葉の志とあ 梅ーちひー 漆ー

備旨、ーの妻ー 雪宿、ー好文木ー 妻若葉ー 白ひ葉

松のたー 十のりの葉ー けいとり ○雨ふる 葉 いてあ

ち若葉 けいとる 柳を 万葉 妻若葉 柳枝と

青柳、 大芥、

○二月は後 柳のはき 山樫の皮 長栄 暖 依保娘

徳の尊いおれひ 曲入 妻の成心 内灯集生奉
例のの汐干 土佐の海の新た 山奈 粟海奈

又、一系も奈 六日能

七、業所もそれ集ま

八、泉涌古用山忌

九、ふ所尾奈又ハ

十、引雄の法集ま 一かきりひ見

十一、引所の集式 中々いふま
おとまりの今ま

十二、孔保 溝才山

寺、至中ま公世目子 横 福丸岡 戸切比奈 湯まはとり

十三、比良ふアミ 徳聖一切地ま 勅字ま 時家大奈 際

十四、沙系奈下

十五、沙身拭サカ

十六、沙彩供奈も

十七、手、燧おけく

乙渡る際時奈 中午 法原奈 千中ま公ま言 いけりの山等
唯の者○ま食 唐の粥 中一の候 まま横版 極丸山吹、

十八、○ま山 鞆靴のま むれ半山の、 清心のみ

穀雨の辰 夏近 仍去 三月日、去の隣 ○田角鶴とむら
麦熟 雨多の巢 呼子多 申子多 暮らるる 上か 築
杉貝、車、綱、くくハ ワの 飯 飯、蚕 ○萍生 初
桃し二千世系 桃林 振き 山杉 八重、家、人
戸、猪 犬、人 丸、西 け、いせ、おし 條、
判り、方、志 屋 多 割 袋 糸 揚き 地 席 の 尾
夏見至 あくか 系 かはし 系 虎の 巾 ぎ、の 雲
、の 雲、ふ 雲、の 波、の 波、の 矢、の 雲と
おの 虎 と 長、くくく、車、丸 車 車、むら

いのかり 蒸 虎 虎 虎 の 巾、ち 系 子 虎 虎 虎
かろ かり 秘 あり 系 系 系 けり 系 系 系 系 系
愚つし 山 吹 本 虎 の 系 虎 丁 虎 本 系 系 小 系 系
かろ かり 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系
東の 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系
樹 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系
○ 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系
夏 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系

△ 胃 却 月 却 の 系、 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系
胃 却 月 却 の 系、 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系
胃 却 月 却 の 系、 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系

一日 文衣 白き くら水目拾遺出 正妻の面一筋を後す
 扇の坪 流下系アコト いかり系山シ。アコトコトコト
 三、 出たき白の皮 ぬいねの能 白くテコト
 四、 廣瀬 砂田系 アコト
 七、 概略の巻
 八、 権以一仏せま一終る、戒檀堂開帳ニイ山
 山崎系 大玉ツリナリを供とコト
 九、 流る池と系
 寺、 伊勢神在系 安正法事 中ね督 終りコト

六、 上塔云 天王寺
 六、 千巻子 三井寺
 七、 日光系
 八、 足儀云 所
 大神系ミワ守 山科、上巳 平所、市 鹿尾、市 八面
 高戸、マコト市 杜中、カク^{上申} 苗家、日吉 梅系、山 山月
 八、 辰 多笑、アコト上巳 江及八岐、中邦 山あり神、アコト
 日吉、中申 か後、中酉 ありひ、ろろ 沙形 中山系 日
 吉田、中子 岡白のか後 法中申 ありま 接ひす、る 善行

三日 秋草蒲 あやめ奥

四、 あやめ奥く内接日借子山シロ

五、 炭舎 あやめ奥の机 あやめ奥ろろ 揚平乃炭

六、 茶玉さくまの玉 茶目 糍けつりけの曾いふか

七、 帯、湯、酒、のたり 艾人 蒲、

桃印符 赤灵、 百もをたぐまに 紫湯を湯

象の美、 競渡 危車 あやめ 津野左近の

あやめあひ 加茂の競る あやめあひあやめ 平地

神あ 三月のつこ ちく 小僧子 ひともの

あやめ山シロ

六、 右近のあやめあひ 日をりの目

八、 川治あ山シロ

九、 介あああ 介ああ

十、 室のあ神あかり

十一、 あ社あアア

十二、 ああの日

十三、 約右の法田極 判あああああああ

十四、 徳田あ山奥洗

長傍溝、山崎の戸、五月の山陰、山田の庄田扇、○娘、
芒種の後、夏から、育る雨、梅の雨、はまき、さるき、
○繭、つらね、○ま、つらね、つらね、藻の、ま、つらね、
和布を、汗、汗の、む、む、夏、鬼、車、
物、多、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、
忘れ、糸、の、糸、糸、糸、糸、糸、糸、
いと、いと、いと、いと、いと、いと、いと、いと、
さ、さ、さ、さ、さ、さ、さ、さ、さ、さ、
さ、さ、さ、さ、さ、さ、さ、さ、さ、さ、
さ、さ、さ、さ、さ、さ、さ、さ、さ、さ、

割子、枇杷、口、口、口、口、口、口、
玉苗、玉田、田、田、田、田、田、田、
○号、号、号、号、号、号、号、号、
羽、羽、羽、羽、羽、羽、羽、羽、
玉、玉、玉、玉、玉、玉、玉、玉、
○二、二、二、二、二、二、二、二、
割、割、割、割、割、割、割、割、
繩、繩、繩、繩、繩、繩、繩、繩、

△六月、六月、六月、六月、六月、六月、
一日、一日、一日、一日、一日、一日、

大枝 夏より ほとひ系 ねつ後の秋あまこ枝
形代 芽の帰 夏神乐 川社 洗火祭 乃食祭
小縄打の神 絶米 ○ 畠の庫 小畠の長 大畠の長 三伏
夕立のころ 簞 牛姆人 露すー 風うら
あまの家 泉 泉より 清くむきふり 牛姆の隣
六月干 虫干 ○ 齋羽まひ 羽よ 齋斎系 虫とり 川より
蟬 蝉りをとり せいのめけり せいの声
夏虫 火より虫 ○ 一取 函 あまさけ 齋油ひー 函は
とを 夏切 桑 梅はけ すれ 林檎 鳥 常教

尻 夏桑より 胡より 蛭より 小角夏 ○ 百日紅
拉子 管の友 一帯 夏之行 蓮 蓮の美 沢沼
何れも 公一の足 薊を刈 栴十青 淡線 眼皮
凌者 まほりー みるん 草 けり 子系 狩干
紫菀 夏ほり つか 麻より くら 藤 信法 芦 川
蒜の根 夕白 冬さこ 花 干 瓢むく 昼白
○ 三月よ 後ろ 扇 あまき 車 扇 ままひ ちハ
あつさ 涼 汗ぬき 海雲 くらふ 虫
秋 白藏 明景 蠅

△七月 ぶつき 文をろけ月七夕、すゑ、女鳥死、

蘭、

六日 小野の虫の水 せきんきく七日く 洗車石

七夕、 初良姫、芋搦、牛女、織女、素早、けい合

早しのふ向七夕はめ 女七夕 男七夕 二つれ早

牽牛 さらり書 いぬひけり 七の川 書むひ再

年の後り、うさきまの指 もさちの指 娘のりえ

乞巧奠 糸のひのり、 庭の立琴、 七箇の地

梳の糸 芋の紫の参 早合の演、いせ 七日の虫書徳

八、 索腰 西渡石 中敷と花見 死守井家の七夕の鞠

九、 文津巻 六乃糸山、 横買日

十、 清水ち子日徳 中之の黄 孟蘭盆会 盆仗 施餓鬼 魂糸

十一、 雪更柳 柳屋 瓜茄子まつ、 麻、うけけ、墓糸

十二、 けり魂 蓮の飯、さ、終 三井ち女徳

十三、 八幡安治院、今、八月十五日

十四、 送火 施火焚、大文字の火、シ、カ谷 妙法の火、マツカサキ

十五、

鳥居出乃巻 魁吹〇吟麦 燧米

〇三月は後 露は八は改の、考りの海に、去人

乃入 紗やう〇とをを系見犬子系 系凡

〇この虫や 藻は怪虫の毒は鳴〇響

△八月 ちろき 魁鳳月 月尺、壯月中討

一日 八朝このむのどい 陰の雲、天中の音 水村系 二日三テ

三、 塙天神系

四、 小野系

五、 白鷺の用帳アミ

十、 敦賀系 平千セン

十一、 司石

十二、 小野月 古夜と

十三、 いけをばあつ 放しと云い合ふ 阿野は八幡系イセ

志賀八幡、アミ 志浦、十カト 宇佐、ツキ 若原、跡

名月 こよみの、名をさ、芋名、新、

早、初汝

十六、 菅大臣系山口 志赤の、物ひき 十六夜月

十七、 横坂の物牽カヒ

六、 法界系山シロ 衆名、イセ

于、 武義の物ひき

其、 早月の物ひきニナノ

其、 上野の物ひき

白藤の良 秋の良 野分 ○後の彼衆 死活杖の系

釋者上ノ 秋社成白 ○初の衆、薄、芙蓉 木犀

蒲萄、忍ひろく 寧治の良 忍び、搦特

志、鬼の、と兼 月羊 忍系 押きく 風仙花

合別系 かまろの良 海核投 りろく系 あらひ

薺の良 かりま尻 玉つさ 羊莖 めくそ 菜垣 入りま

きりこた 菜大假茨子の種まく 百川菜 厚徳八束、

○蛇穴丈 乙多、多々 稲負多 丁 刈一袋 駭まき

後りも 色々 ひよも つくこ 刈こき 結山、

四ナリ 木あゝりり 目白 きくくき 三きき

小奮物 さハ くら下 舞 舞打 かろ さひ新

巻、下り葉 皆色、 初種 ○衣打 磁 一とるお

四とらきぬ

○三月は後、 三月月 くら約、 十日 西信、 十日 外信 十五日

月の弓、弓の美、の舟、の鏡、の巻、の桂
の胤、の玳、の名、の部、上狂下、玉巻
老嫁嫁嫁 桂男 壺の妻 女日交中 女之夜
早月夜夕月 月のさやう ○終田娘 花地 花
すき 尾巻 刺羽すき 刈萱 首 根と羽 花橙
鶴頭 瓦 丁来江 冬丸 鬼灯 半房引 半つたを
思とち いさ蓬 かし 流水 引板 鳴子 ○うら
時 初く、一境、一の羽うき、一の羽りり、はき 鶴
、のさき、のさきよえ 兼らせき 糸曲もさき

○鏡小綴川 くらげ

△九月 けろき もる月小敷、森足 きく、梢の娘木深ら

三日 法灯

七、 不塔田の奏

八、 桂のえ角カ山シロ 泉涌ち今利去

九、 午陽の意 午九 きくは 兼菓の袋 きくは 泉

磁礪系能と 山島の名、こま くらま、 かしら、

中玉、大坂 九日小袖

十、 白文系大は 下巻羽、山シロ 砂のきく

十六、例幣イセ 吉田三モ

十七、太秦祭 牛祭トモ

十八、佐古角力会 四市 白川祭山シロのち月 夏名月

十九、栗名、二夜の、

二十、寺 了王寺一系を今八十五日

二十一、栗入祭山シロ 小倉、フセシ 栗田口、一の文、カ八千

二十二、神田明神、ムサシ 勤学会

二十三、夜会彩堂をイセ 早稲祭山シロ 桂川の辰辰日

二十四、長服祭セク あやは祭八十七日

二十五、女、婆利女祭山シロ 猿夷の、日 八幡祭の辰辰日 成育祭山日

二十六、天王寺 猿夷祭

二十七、

二十八、本懐祭山シロ 麻久谷、日 逆祭、アノミ

二十九、了海滴流る大坂

三十、小山祭山シロ

三十一、津村、ツノクニ

三十二、福王神祭山シロ 鳴瀬、日

三十三、役所の神送

○三月は後分 松、のろり 椎葉柿 木凍、候
此所柿 年一、つき 梨ヶの浦、イセあつる、新系
冬元英上天

△十月、うきまつき 初冬、陽、小春 初冬

祭正 無障

一日 文衣 孟冬の旬 神送 糗糟を食 進炉炭

煖炉を

八、射場始地を修るより 歩きくれ島 遊ヶ忌
十、取まふ

六、真福寺法喜云 九月三日ヨリナラ

十、治大云 十六日マテナラ 今比所系 廿又キ

三、御新講 日老人上人忌日

十六、下元の日 名官解厄

十七、東福寺同山忌 不之忌トモ

十八、名ハモ講

廿、法務寺大系云 廿八日マテ

三、神送

大社の神事ナリ 神集日 神の取書 廿〇〇〇〇〇〇

八、 吹草祭

十一、 新玉津崎のかはらき入来 そ也忌 跡くき歩り
十二、 山伏事 二十日正午お祭り

十三、 大所傳 天台智者大阿闍梨

十四、 山系十下妻日能り

十五、 宇志祭

一陽の志良 宮縁を添 履襪を就き 又良中世 帳巻の試
教上の圓碎 睿 童女山夜弁日 ○相嘗祭上卯 宗係
山科、上巳 平野、上申 妻日、日 杜本、日 尚麻、日 率山、日

梅文、上 尚家、日 中山、日 松尾、日 大原野、中子

里を韓神、中六 吉田、中申 日吉、日 ちきり 陰魂、中子

新嘗、中卯 豊の明の良を中辰 日吉原村の系 下中申

加茂原村の、下る子、下る口 東三系の日 神木下里、

小忌名、の袖 山あふの、日蔭の系、のころ 神木下

神起の、阿知女 毎燎曲名ナリ 採物の方 柳くま

くまくま 杖 毎うたを 公伝こ 行打 法奉

葛かぶ神くま 大系法 久人 本綿子 殺波くま

志かき 井奈野 又きき 小千出 一子 杖

十一、月夜に 神今食

十二、春の祭の儀定め

十三、家勝寺傍頂山シロ

十四、此山名、うけ綿 栢梨の幼童セツヨリ

十五、大徳寺岡山山シロ

十六、小海口

十七、秋風の陰る 和布刈の結る夕 云々多カト 除衣

魂まらり 忌足止る

大神宮 此髪上下午 古斗妻子の儀とら大書目 忌足改

内侍所の山神楽 又桑天神系をけり 春田秘 札をみ

早稲の麦 冬をまじ 冬を垢誰 年終○小冬の前

大冬の前 踊日 踏糸 赤平 傳祀 煉松 加をまじ

霞を 追遊 おもやうい ちをまじ 一声 豆お 知さきん

室母 いたりの隠る ちをまじのひん 厄おと 厄松

年日まじ 赤をまじ ちのくれ 赤尾 仍年

流る年 赤をまじ ちのくれ 結お賣 宵の傍お賣

冬声 年 忘 曆の末 冬果の曆 去を傳 去を伝

去迎き○ ちをまじの介をまじ 年木換 子松 子松

子候の棟（一） 三折 冬行の子 ○ せきく 二景 八初
 鶴つらと屯 ○ 夜死 冬行の 冬まじし うちつき
 もち死
 大守季れ河内（一） 冬まじし 冬行の子 冬まじし 冬まじし 冬まじし
 他卿のこしきふまじし 冬行の子 冬まじし 冬まじし 冬まじし
 かつくふてこしきふまじし 冬行の子 冬まじし 冬まじし 冬まじし
 他の例とまじきふまじし 冬行の子 冬まじし 冬まじし 冬まじし
 望中乃定めふまじし 冬行の子 冬まじし 冬まじし 冬まじし

天保五^甲午年
 正月發兌

江戸馬喰町三丁目

宮屋源兵衛

同 芝神明前三島町

津村七郎兵衛

同 一谷

野田七兵衛

京都二条下ル寺町通

野田次兵衛

大坂高麗橋壹丁目

藤屋彌兵衛

同

扇屋利助

